

第60回（一社）比較統合医療学会学術大会
第20回日本補完代替医療学会学術集会
一般講演 44

全粒ハトムギエキス継続摂取による肌改善効果

上原静香、吉川智香子、笠 明美

株式会社コーセー 研究所

【目的】

「内外美容」という言葉が表すように、美しい肌を得るためにには、化粧品による外側からのケアのみならず、機能性を有する食品やサプリメントによる体内からのケアも大切である。近年ますます、食品の機能性について注目されるようになり、エビデンスに裏付けられ肌効果を謳う素材も増えている。ハトムギ種子全粒の酵素処理抽出エキス（以下全粒ハトムギエキス）は、機能性食品素材として、皮膚疾患に対する作用などが報告されていることから、我々は今回全粒ハトムギエキスに着目した。本発表では、本原料を含有する食品の8週間継続摂取において認められた新たな肌改善効果について報告する。

【方法】

20-40代女性被験者10名を対象とした用いた摂取試験を、2016年9～11月にオープン試験にて実施した。食品の形態は顆粒状とし、顆粒1.5g中に全粒ハトムギエキスを1g含有したものを1日1回8週間摂取した。摂取前、摂取4週間後および8週間後に、肌測定（頬水分量、頬及び上腕の経表皮水分蒸散量、頬内部反射光、頬及び上腕の皮膚色、額皮脂、頬のきめ観察、角層ストリッピング法による角層剥離状態観察及び角層デスマグレイン1の観察）及びアンケートを実施した。

【結果】

肌測定の結果においては、頬の経表皮水分蒸散量が摂取8週間後で有意に上昇した。頬内部反射光測定では、摂取8週間後に肌の透明感指標である青色内部反射光の総量（B AREA）が有意に増加した。頬のきめについては、摂取4週間後及び8週間に有意な改善効果が認められ、テープストリッピング画像から判定された角層剥離状態は摂取4週間後及び8週間に有意な改善効果が認められた。

肌効果アンケートについては、肌測定結果の結果に対応する項目において、有意なスコア改善が認められた。

【結論】

今回得られた結果を関連づけると、角層剥離状態の改善により肌のきめ形態が改善し、角層の状態を良い状態に導くことから、肌の内部反射光を増加させ、肌の透明感が向上したのではないかと推察された。また、アンケート結果も肌測定結果と対応していたことから、被験者の実感を伴う変化であったことが示された。

今回の種々の検討により、全粒ハトムギエキスは美肌効果に優れる素材であることが明らかとなつた。特に、全粒ハトムギエキス摂取による肌の透明感向上という新たな肌効果が見いだされたことから、女性の内外美容に貢献できる素材であると期待される。